

# 健康生きがいづくり・とちぎ

<http://www.tochigi-kenkou-ikigai.com>

会報十二号の発行によせて  
会長 森山 京逸

平成二十二年度は、七名の新入会員を迎えました。これから一緒に活動されますことを期待いたします。

事業活動は会員の皆様のご協力により計画通り実行推進されました。その成果に感謝申し上げます。

事業部会が企画実施された「知る栃オトナの探勝会」は回を重ねることに参加者が増え、良き交流の場となりました。

今年度も「ヴァイオリンコンサート」会場には、大勢のお客様と一緒に素晴らしい演奏を楽しみました。「定期コンサート」として、地域の皆様から大きな期待を抱つていると感じました。

研修部会の講師活動も実績と評価により、事業部会が企画実施された「知る栃オトナの探勝会」は回を重ねることになりました。

外部からの要請も多くなり活動に新たな展望が見え始めました。しかし、養成講座の受講生の減少は、新会員拡大に繋がらず次年度に課題を残すことになりました。

財団及び各地協議会と情報交換を推進しながら、活動の拠点づくりと魅力ある活動内容の拡充を図ることが、より大切になつて参りました。

会員の皆様には健康に留意され、これからも栃木県健康生きがいづくり協議会の活動により一層積極的に参加下さいますようお願い申します。



会員の皆様には健康に留意され、これからも栃木県健康生きがいづくり協議会の活動により一層積極的に参加下さいますようお願い申します。

「県民協働フェスタ 2011」に出展参加しました

事業部会長 溝口 清

平成二十三年二月七日(月)栃木県庁の一階

県民ロビーで、栃木県主催、とちぎボランティアネットワークが企画運営する「共感・応援・チャリティー」オータクションがあり、参加した栃木健生会員は講演会や分科会で学び、他の出展団体と交流をしました。また来場者からは私達の講演活動、その他の活動に対する質問を頂き、県内の活動団体や県民の皆様の認知を高めると共に有意義な交流を図ることができました。

このイベントに向けて多くの準備や当日参加下さいました会員の皆様、ありがとうございました。

## 平成23年度定期総会開催案内

時： 平成23年4月10日(日) AM10:00  
所： 宇都宮市 とちぎ健康の森 D教室  
内 容： 1 定期総会 10:50～  
2 講演会 11:00～  
講師 栃木県 健康づくり推進担当  
～みんなでつくろう生涯健康とちぎ～  
その他： 総会終了後、新入会員歓迎会を1階レスト  
ランにて開催します。

ホームページアドレス変更いたしました

URL: <http://www.tochigi-kenkou-ikigai.com>

～第12号～  
栃木県健康生きがいづくり協議会  
平成23年3月15日 発行  
発行責任者 森山 京逸  
編集責任者 藤田 三夫  
事務局(長尾) 0287-37-3451



大田原市内元の繁華街、通称荒町通りの一角にて「みつけ」を開店いたしました。運営は、栃木健生会員二名とシニア二名の男四名、ボランティア登録者十五名で、毎週火・木・土の週三日当番制で(最低二名)行つております。

利用料は、コーヒー・紅茶・昆布茶・緑茶等を一百円(お代わり自由茶菓子・軽食等持込可)で提供しております。三か月経過しての利用状況は、常連利用者が五名・二グループ・運営者の知人友人等で一日平均約十名のご利用をいたしております。

先般「さわやか福祉財団」「ふれあい・たすけあい」の全国市民活動に対し、助成金募集があり、これに応募したところ合格の知らせをいただきました。

か福社財団」「ふれあい・たすけあい」の全国市民活動に対し、助成金募集があり、これに応募したところ合格の知らせをいただきました。

か福社財団」のみなさまありがとうございました。ボランティア・賛助会員・地域の方々の応援を頂き、運営をしておりました。今後ともご指導ご協をお願いいたします。

講師については現役の時に七年間、出向先で三年間の経験があり、部外の方についても研修を実施していた事で講義や板書の仕方については慣れている方だと思っています。退職後に再びこのような機会に恵まれるとは思っていませんでした。

流石に最初のシルバー人材センター主催の、南校での講義では笑いを誘う事ができませんでしたが、二回目以降は事例を多く取り入れた講義を心がけ、次第に本領が發揮できたと思っています。ただ、話が波に乗つてくると時間をオーバーするくらいがあるので注意をしなければと思っています。

鹿沼の生涯学習講座では五月と九月に担当させて頂きましたが、いずれも講義が長時間で飽きないよう、取り入れたおもちゃ作りが好評でした。

更に受講生と社交ダンスの話で意気投合、後日、ダンスパーティーにも招待して頂き、忘れられない思い出となりました。

中央校でのシルバー人材センター主催の講座では十三名の受講者が集まり、活況のある講座となりました。

健生に講師活動グループが誕生し、勉強会を経て、二年前から県シルバー人材センターや鹿沼市で講演を実施しました。初めの頃は、事前に依頼した。

### 講師活動の感想

野中 アサ

今年度実施した養成講座には二名の方が受講され、優秀な成績で審査試験を合格し、一月十五日の認定試験も無事合格されました。おめでとうございます。

会報十二号 会員の皆様のご協力により発行することができました。今後ともより良い紙面を掲載出来ますよう情報提供並びに、「指導、ご破損のほどよろしくお願ひいたします」。

### アドバイザー養成講座を開催

研修部会 木地 洋次

会報十二号の発行によせて 森山会長挨拶  
○会員の皆様のご協力により発行することができました。今後ともより良い紙面を掲載出来ますよう情報提供並びに、「指導、ご破損のほどよろしくお願ひいたします」。

編集後記

会報十二号 会員の皆様のご協力により発行することができました。今後ともより良い紙面を掲載出来ますよう情報提供並びに、「指導、ご破損のほどよろしくお願ひいたします」。

研修部会 木地 洋次

会報十二号 会員の皆様のご協力により発行することができました。今後ともより良い紙面を掲載出来ますよう情報提供並びに、「指導、ご破損のほどよろしくお願ひいたします」。

編集担当者一同

## 地域活動事例紹介

### 講師活動の感想

田部井 一男

者と打合せも無く、受講者の目的や感想等も聞けず、講演内容に満足頂けたのか否かと一抹の不安がいつも頭の隅にありました。受講者が講演に熱心に耳を傾け、反応が見られ、帰り際に何人かの方から声をかけられると、何か心に残るお話を出されると少しあ堵致しました。

今年一月、友達と温泉に行つた帰りに立寄ったお店のレジで「もしかして野中さんですか?」との声に一瞬戸惑つて「約三十年前講座でお世話になった〇〇です。お陰様で今でもこうして働くことが出来ます」とお礼を言われ恐縮しました。

今後の講師活動は、グループ内で情報交換の場をもっと増やし、少しでも受講者に役立つ講演内容になるように自己努力いたし、期待に応えたいと思います。

お店のレジで「もしかして野中さんですか?」との声に一瞬戸惑つて「約三十年前講座でお世話になった〇〇です。お陰様で今でもこうして働くことが出来ます」とお礼を言わられ恐縮しました。

今年一月、友達と温泉に行つた帰りに立寄ったお店のレジで「もしかして野中さんですか?」との声に一瞬戸惑つて「約三十年前講座でお世話になった〇〇です。お陰様で今でもこうして働くことが出来ます」とお礼を言わられ恐縮しました。